

# 安全報告書

(平成22年度)

平成23年6月

## ※ ごあいさつ

3月11日発生した東北地方太平洋沖地震では、大津波による被害が甚大で多数の人命が失われ、産業・交通すべての施設が破壊されました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、復旧・復興に尽力されている方々に心から敬意を表します。

弊社においては、地震による列車・鉄道施設への直接的な被害はございませんでしたが、震災で9日間の運休により皆様には大変なご不便をお掛け致しました。その後、関係機関のご協力のもと3月31日より通常ダイヤの運行でご利用いただいております。

弊社沿線には、最上川とそれに流れる支線の鉄橋が3箇所あり、最も警戒するところです。今後とも、災害発生による事故防止に最大限の努力を図ってまいります。

山形鉄道株式会社

代表取締役社長 野村 浩志

## 1. 安全に対する基本方針

### (1) 基本方針

当社の経営理念の第一は「輸送の安全確保」です。「安全の基本方針」に行動規範の「安全綱領」を加えると共に、スローガンを掲げ、社長以下全社員に周知取組んでおります。

- (ア) 安全の確保は輸送の生命である。
- (イ) 規程の遵守は安全の基礎である。
- (ウ) 執務の厳正は安全の要件である。
- (エ) 職務の実施に当たり推測に頼らず確認の励行に努め、疑義ある時は最も安全と思われる取扱いをする。
- (オ) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をする。
- (カ) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- (キ) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。
- (ク) 安全スローガン「社員全員が意識をもってつくりあげる安全・安心」

### (2) 安全目標

鉄道輸送安全目標(平成19年度～平成23年度)は、次のとおりです。

区分	項目	内容
目標	列車事故	乗客の死亡を伴う事故を5年間、発生させない。
	人身障害事故	5年間の発生件数ゼロとする。
	踏切障害事故	5年間の発生件数を1件以下とする。

## 2. 事故等の発生状況

(1) 【列車・人身事故】発生は、ありませんでした。【踏切障害事故】2件発生致しました。

(ア) 1件目は、降雪により踏切内に立ち往生した軽自動車に下り列車が衝突し、先頭車両のブレーキ管等を損傷しましたが、乗客8名乗務員2名、当該自動車運転手及び同乗者は、車外に待避しており、けが人はありませんでした。

(イ) 2件目は、下り列車が踏切を通過中2両目の車両側面に衝突し、ラジエータ・燃料制御装置・空気清浄機の変形損傷など車両に重大な損傷を受けましたが、幸い乗客11名乗務員2名、当該自動車運転手に、けがはありませんでした。

なお、過去5年間の鉄道事故の発生件数と死傷者数の推移は、次のとおりです。

年 度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事故件数	0	1	0	1	2
死 傷 者	0	0	0	0	0
うち死亡者	0	0	0	0	0

(2) 輸送障害の発生状況

(ア) 自然災害（地震や暴風雨、豪雪など）による運休又は、30分以上の遅れが発生した件数及び本数は、以下のとおりです。

災害種別	件 数				本 数			
	風害	雪害	雨害	震害	風害	雪害	雨害	震害
運休件数	3	4	3	1	12	46	4	357
30分以上の遅延件数	0	0	0	0	1	5	5	2

・22年度は豪雪や地震の影響による運休本数が際立ちました。

・30分以上の遅延件数は、運休件数と重複する件数を除きます。

(イ) 鉄道施設によるものは、1件発生しております。

5月21日7時22分宮内上り出発信号機がケーブル不良のため、信号が現示しない事案が発生し、タクシー・バス代行輸送を行いお客様に大変ご迷惑をお掛けしました。原因は、昨年末に応急処置中のケーブル不良で平成22年9月新しいケーブルと更新し、以降異常は発生しておりません。

(ウ) 車両不具合によるもの ありませんでした。

(エ) 踏切支障によるもの

項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度
遮断桿折損	13	10	21
支障装置いたずら	3	3	3
その他の事象	9	4	7

(3) インシデントに該当する事案は、ありませんでした。

(4) 本年度、行政指導等は、ありませんでした。

### 3. 輸送の安全確保のための取組み

- (1) 安全スローガン「社員全員が意識をもってつくりあげる安全・安心」を掲げ意識の高揚を図りました。
- (2) 踏切事故ゼロをめざして
  - (ア) 営業車・工務車両に「踏切事故防止運動中」のプレートを貼り付け、広報活動を行いました。
  - (イ) 駅構内にポスターを掲示し意識の高揚を図りました。
- (3) 教育訓練関係
  - (ア) 動力車操縦者免許に関する規定改正に伴い、9月8・10日運転士全員に改正内容の説明を実施し、規定施行後の自己管理の徹底を促しました。
  - (イ) 新人運転士に対する安全講習会9月29・30日東北鉄道協会主催に参加し、新人運転士の安全に対する意識の高揚を図りました。
  - (ウ) 他社の異常時訓練会に5月14日参加し、人身事故発生時の早期復旧体制の構築を学びました。
- (4) 安全のための支出

平成14年国土交通省安全性緊急評価を受け指導を頂いたものをはじめ、安全対策事業として橋梁塗装、軌道整備並びに車両の定期点検（全般検査）2両を実施、安全運行に努めております。各事業費は、以下のとおりです。

緊急保全整備事業	
羽前成田道床交換工事	340万円
松川橋梁橋脚工事	250万円

安全対策事業	
軌道整備費	1,240万
踏切遮断機更新	110万
車両定期点検整備費（全般検査2両）	3,170万

軌道道床交換（羽前成田駅構内）



松川橋梁橋脚工事



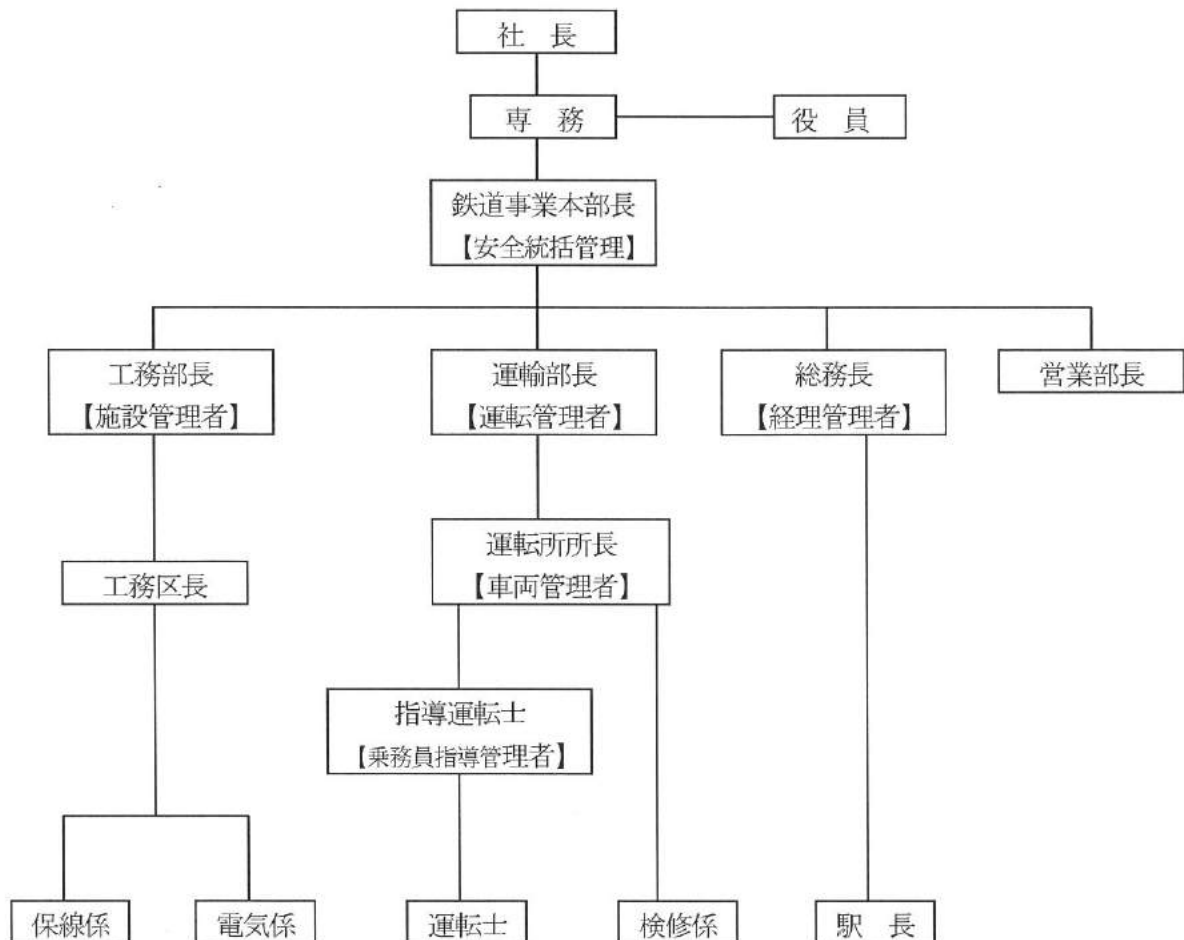
車両整備全般検査  
8号車 台車探傷検査



#### 4. 安全管理体制

##### (1) 安全管理組織

弊社では、社長をトップとする安全管理組織を構築・運用しています。この組織の中で安全統括管理者、運輸管理者、施設管理者、乗務員指導管理者等がそれぞれの責任を明確にした上で、安全確保のための役割を担っています。



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道事業本部長 【安全統括管理者】	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運 輸 部 長 【運輸管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運輸に関する事項を統括する。
運 転 所 所 長 【車両管理者】	運輸管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。 運輸管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
工 務 部 長 【施設管理者】	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。

総務部長 【経理管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運輸の安全の確保に必要な設備投資・人事・財務に関する事項を統括する。
-----------------	---

5. 利用者・住民の皆様との連携のお願い

- (1) 平成23年6月中旬、長井駅構内に隣接する水親公園が完成します。その公園から直接構内を横断して乗降ホームに入ることができますが、警報機が鳴り始めましたら、絶対に横断は、やめてください。無理に横断すると大変な事故になります。

6. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご感想、当社への安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

【お客様ご案内窓口】

山形鉄道株式会社

Tel;0238-88-2002

FAX ; 0238-88-5187

E-mail ; yr-inf@flower-liner.jp